

東京教区時報

第1213号
2011年6月26日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代祷・信施奉献先
▽地球環境のために祈る日(6月5日に近い日)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日)▽沖縄週間(6・19・25)▽アジア・エキヌメニカル週間(6・5・12)▽沖縄教区のため(沖縄週間)▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)
▽立教大学教会音楽研究所公開講演会 アジアにおける教会音楽の探求―韓国聖公会の実践を中心に―7月2日(土)15時。太刀川記念館3F多目的ホール。講師||李健庸、講師・通訳||香山洋人司祭。参加無料。
▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂唱詠晩祷 7月3日(日)16時、東日本大震災の被災者、逝去者を覚えて。始めにフラン

シスコ修道院の代祷 [Pray for Japan] を捧げる。説教||中村邦介司祭。奏楽・指揮||岩崎真実子、同院高校聖歌隊・同窓生・保護者・教職員など、有志によるフォーレ・レクイエム(抜粋)の奉唱。献金は被災地支援のため。照会TEL03(53370)3038・同院キリスト教センター(月・火・木・金)。
▽ボランティア事前登録 教区東日本大震災支援対策本部から、登録のお願いと登録申込書が各教会・礼拝堂で配布されている。得意または希望種目などを記入し必要に備える。
◇支援対策本部ニュースNo.3
*4月2日執事按手式の集合写真申込を教区事務所で受付中(広報委員会)

今週・来週の予定
6月26日~7月9日

26(日)	聖霊降臨後第2主日 主教巡回 聖マルコ教会
27(月)	聖職養成: 教役者宿泊 研修(~29日) ハラスメント防止委員会
28(火)	銀座朝祷会 正義と平和協議会運営委員会
30(木)	宣教協議準備会
7月	
3(日)	聖霊降臨後第3主日 主教巡回 東京聖テモテ教会
6(水)	エルサレム協働: 女性 部会 聖職養成委員会
8(金)	広報委員会 外濠G牧師協議会

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

手にそっと触れる。指差す。「あー」。CMソングの真似。頭の上に手をひらひらさせる。ぴよんぴよんはねる。座り込む。「自閉症」というしうがいを持つ方々は、他の人達とは違った、独自のコミュニケーション方法で、私達スタッフに、色々なことを伝えてくれる。話し言葉は、一般的な(つて誰が決めたのか?) 使い方と、ずいぶん違うことがある。表情も、その人の思いを理解するうえで、決め手にはならない。私達は、当事者それぞれが持つ、かけがえのない「言葉」を理解するために、努力を重ねる。

《み手のなかで》

触れる

Aさんの「言葉」がわからないとき、私達はとても悲しい。伝わらない悔しさや、不快な気持ちを、自分の頭をたたき続けて、痛みと共に表現するAさん。スタッフはみんな悩む。そして、手段を駆使し

て、なんとか相手を理解しよう、自分達の思いや意図を伝えようとする。例えば、手にそっと触れる。指差す。写真を見てもらう。タイマーを鳴らす。ゆつくり、話しかける。そして、耳をすます。ごくたまに、その人の本当の思いに近付けた、と感じる時、共通の「言葉」を見つけたようで、私達は小躍りしたいくらいに嬉しい。コミュニケーションがほどけていく。世界がひろがっていくように思える。

「はじめにことばがあった」。私達ひとりひとり、固有のかけがえのない言葉を持って、主の御手の中にいる。そして、「自分の思いをわかってほしい」と願う、私達の傷ついた手に、ナザレのあの人は、そっと触れてくださる。だから私達は、きつとこれからも、孤独ではない。
(滝乃川学園職員)

南三陸町を訪ねて

主教 大畑喜道

6月14日から16日まで主教会が行われた。当初は東京で開催される予定であったが、今回の震災を受けて仙台で全主教が集まり、現地で祈りを捧げ、今後のことを話し合った。15日は仙台支援本部の長谷川清純司祭、中村淳司祭らに同行して頂き、南三陸町に入った。一見すると仙台市内は震災はなかったかのよう。しかし、のどかな田園を越え、峠を越えた私たちは声を失った。呆然と立ち尽くす、と言う言葉がびったりかも知れなかった。震災から3ヶ月、少しも復興の兆しを感じることはない。何もなくなってしまう

た街、空しく病院のビルディングだけが立っている。

現地では南三陸町でおもちゃ図書館を行っていた鈴木清美さんが案内し、お話ししてくださいました。被災した場所は町で避難場所となっていた所。「今まで経験したことのない轟音がしたかと思ったら、水が迫ってきた。必死に逃げ、濁流に巻き込まれている中で、周りの人々に声をかけ、励まし続けた」と言う。最後に彼は、町の人々と見捨てられ小さくされた人々を励まし、連帯して生きていきたいと夢を語ってくれた。それだけが何よりも救いだった。

多くの人々の心が砕かれている中で、支援したいと来る人々と、被災された方々との溝がな

かなか埋まらない。時間が経つにつれて様々な思いが渦巻き、

双方にフラストレーションがたまる。地元の人が本当に勇気を奮い、力を出していくために、何ができるのだろうか。私たちの勝手な思いを振り回してはいけない。主役は地元の方々、予定は未定、計画はいつでも変更可能、という柔軟な心を持つことが大切なのではないか。自分を変える事は難しい。そして、本当に時間が必要である。何よりも、共に祈り、主がともに歩いてくださるという信仰が強められることを、求める以外に私たちに方法は無い。

今後とも、東京教区の皆様の支援、協力を願わずにはいられない。
(東京教区主教)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

2011年度教役者宿泊研修会

聖職養成委員会主催による宿泊研修会が6月27日(月)～29日(水)の2泊3日の日程により富士箱根ランドスコールプラザホテルで開催される。2012年に日本聖公会宣教協議会が予定されていることを踏まえ、今年「宣教について考える」を主題として、教役者として遣わされていることの意味を宣教という視点から考えていこうとしている。併せてハラスメント研修も実施される予定。

▽礼拝音楽委員会制作の聖歌集CD「今日もまた新しく」

全国から関心を寄せられ、注文を受け、制作費を回収することができた。同委員会はこれに感謝し、今後の残部売上げ全額を

東日本大震災募金へ献金することにした。この機会にご購入を」と、呼びかけている。

このCDは、すべて礼拝のライブ音源を使用し、『日本聖公会聖歌集』が実際にさまざまな礼拝で、どのように歌われているかを知ることができる。頒価二千七百円。申込先教区事務所内礼拝音楽委員会宛。

▽広島平和礼拝2011 広島に原子爆弾が投下され66年目を迎える8月、神戸教区主催の平和礼拝と行進が今年も実施される。「ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ」をテーマに、8月5日(金)・6日(土)の両日。若い世代の参加が期待されている。申込期限7月12日(火)、参加費・申込

方法など詳細照会は、同実行委員会事務局☎082(227)1553・広島復活教会。

▽GFS全国研修会「平和イン長崎」 被爆地長崎で原爆投下時刻にあわせ、祈ることから始まる研修会。8月9日(火)10時半～11日(木)12時まで、長崎聖三一教会。宿泊ホテルニュータンド。参加費2万3千円。申込期限6月30日。照会&申込☎093(551)0006・会場教会(平上)。

【東日本大震災関連】

チャリティコンサート

▽真光教会Ⅲ 7月3日(日)14時、同教会。出演：那智上亜美(S)、北島千夏子(P)。入場料1千円。照会☎090(2738)5390・松田。